

# 誇りに満ちて

発行責任者：結城克明

## はじめに

2学期も残すところあと1週間となりました。来週には各クラスで「冬休みの計画」と「冬休みの生活」について、学級ごとに指導を行います。夏休み前のこの欄でもお伝えしましたが、本当に冬休みらしい冬休みも義務教育では今年限りかなという感じがします。3年生はまさに受験モード。1年後の自らの立場に思いをはせ、1日1日を大切に過ごして欲しいと思います。

## Another Eyes ～ 「保護者の目」

### 1 組保護者（母）

最近までの勉強方法がテレビの音や、私と妹との会話を聞きながら1番頭に入るといって、こたつなどで行っておりました。それも短時間でした。机でやったり、静かな場所だとだめなんだと言って。

その彼女が、先ほど実施された三者面談でいろいろなアドバイスをいただいてから、机に向かって勉強する姿が見られるようになりました。

これからも塾に行く来はないらしく、その分、参考書や問題集の購入をたのまれました。家庭におきましては、学習に対しては父親の役目になっておりますので、最近は相談することも多くなってきているようで、2人で会話をしている姿は、ほほえましく感じております。

では、この子に対して母親の私ができることは？と考えますと、1つは手料理で楽しい家庭の団らんを与えること。2つめはある方の文章からですが、健全な子が育つには、まず「夫婦円満、明るい家庭」という言葉があるように、いたわり合い、支え合って暮らすことでしょうか。

親子ともどもがやるべきことを為して、来年の今頃は心身ともにゆとりがあって受験に臨むことができるようにしていきたいと思っています。

友人関係におきましては、その人に対しての「心の貯金」をたくさんして欲しいのです。何かトラブルがあったとしても、その人に「貯金」をしていたならば、少しのお金をおろすだけで済み、大きなトラブルにはならないからです。貯金が0であれば、どんどんマイナスになるだけで、心に傷を負うだけです。そのためには、ふだんから相手の良いところをどんどん見つけ出すことだと思います。そして大切な青春の1ページ、1ページを楽しい思い出に染めていけるようにと願っております。

娘さんは、学年のリーダーとして文化祭や集会において、活動の中心的な役割を果たしています。授業でも彼女の持っている好奇心や興味・関心、その良さが存分に発揮され、成果を上げています。

お母さんの書いた文章をお読みすれば、ご家族がこたつを中心にして、こたつにすっぽりとおさまり、あーでもないこーでもない、親と子が顔をつきあわせ、いろんな話をしている様子が伝わってきます。とっても明るい雰囲気のご家庭のようです。うらやましい限りです。

その秘訣がやはりというか「夫婦円満」なのですね。いつもここにことごとく両親が話されていれば、また、お母さんのお父さんに対しての接し方が温かかったならば（もちろんこの逆もあるわけですが）、こどもたちは知らず知らずのうちに朗らかで愛らしいお子さんに育つのだとわたしも思います。こどもが口を余したり、反抗的に接するようになった場合には、親（夫婦）同士で発する言動がどうだったのだろうか？また、親（夫婦）が作り出す雰囲気はどうだったのだろうか？など、まず自分たち親（夫婦）の足元を見つめ直すことが必要なのではないかとあらためて感じました。「子は親の背中を見て育つ 子は親の写し鏡」身にしてみても分かります。

さて、人に対しての「心の貯金」の考え方、これもまた勉強になります。「情けは人の為ならず」と同じような考え方なのかなと思いますが、そこに「貯金」という「お金」が介在することにより、より積極的な人づきあい、人間関係の構築を目指しているのだと思われまます。これも「夫婦円満 明るい家庭」と同様に、活用させていただきます。

## 「整理と研究」

入試対策教材としてご購入いただきました「整理と研究」を利用した学習をしているところであります。まずは1年生の復習です。朝の学習の時間を利用して約20分間行っています。どのようなことでもそうですが、やると決めたことを根気強く継続して行うことが大切ですので、ご家庭でもこの教材の活用についてお話し合いいただければと思います。

